

市政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をただすことです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、24人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

- (公明) = 市議会公明党
- (政和) = 政和会
- (フォ) = フォーラム小平
- (共産) = 日本共産党小平市議団
- (生ネ) = 生活者ネットワーク
- (虹ひ) = 虹とひかり
- (みな) = みんなの党小平の会
- (志政) = 志政クラブ

行政一般

民間の活用で戦略的な駐車場経営と 公用車シェアリングを

市民の活用で戦略的な駐車場経営と公用車シェアリングを
① 自主財源の確保等の観点から、公有の駐車場を民間との提携により管理することについての見解は。
② 公用の乗用車は民間のカーシェアリングを活用すべきでは。

市長 ① 市民文化会館西側駐車場場で実施している。実施には、面積や採算性等の条件や利用状況等の検討が必要と考えている。
② 台数の削減が優先課題と考えているが、車両の有効活用や公用車の管理コストの削減の観点から、他市等の状況も見きわめながら、今後研究していく。

サポート期限切れとなる 市のパソコンへの対応について

石毛航太郎議員(フォ) ① 市の情報セキュリティに対する考えと取り組みは。
② ウィンドウズXPパソコンを更新する考えと時期は。

市長 ① 市民に対する信頼獲得や組織の社会的役割として重要な課題と考えており、研修などの人的対策やウイルス対策ソフトの導入などの技術的対策、管理区域への立ち入り制限などの物理的な対策を実施している。
② 基本的な方針として本年度中にウィンドウズ7などの上位OSに順次更新する予定である。

都市計画税率の 引き下げについて

小野こういち議員(政和) ① 都市計画税をもとにして今後実施

していく予定の事業は。
② 現行の0.27%と0.2%に減税した場合の各概算税額は。

市長 ① 市街地整備の促進として小川駅西口地区等の再開発事業や小川四番土地地区画整理事業、都市計画道路の整備として小平都市計画道路3・4・23号線等都市計画道路3・4・23号線等の整備事業を予定している。
② 現行税率の調定額は10月末現在で、24億7千8百64万円を見込んでいる。0.2%の税率で計算した場合は18億3千6百万円程度である。

昭和病院組合など、一部事務組合に 対しての市の見解を問う

磯山 亮議員(政和) ① 武蔵村山市が昭和病院組合から脱退の意向を表明したが市の認識は。
② 小平・村山・大和衛生組合や湖南衛生組合の事業に影響は。

市長 ① 多摩地域での昭和病院の重要性に加え、歴史的なつながりや広域的な相互協力の関係等を踏まえ、脱退を思いとどまってもらいたいと考えている。
② それぞれの目的で設置されている一部事務組合だが、全体の信頼や相互協力の関係から脱退の意向表明が影響を及ぼすのは否定できないと認識している。

ICT情報を受発信できる環境整備を

磯山 亮議員(政和) ① 中央公民館へのWiFiの導入が進まないのはなぜか。
② 災害時にWiFi環境を整えていることのメリットは。

教育長 ① 一部の利用者から設置の要望があるが、経費や費用対効果の面から検討が必要である。また、複数の中からの事業者を採用するかについても考慮する必要がある。利用者のニーズや今後のICT技術の動向等を注視しながら検討していく。

行政評価を活用した経営について

立花隆一議員(公明) ① 行政評価に対する現在の総括は。
② 第三者評価に対する見解は。

市長 ① 事業の有効性等の観点から分析と評価を行い、次年度以降の施策や事業の実施内容等の改善を図っている。また、多くの職員が評価票の作成に携わることによって改善意識の向上につながり、成果重視型の事業執行が行えるなど一定の成果があった。
② 市が行う行政評価は業績測定の前向きで、客観性は十分保たれているので、現時点では第三者評価の導入の予定はない。

消費増税による市財政への 影響はいかに

常松大介議員(フォ) ① 来年度予算の各会計への影響額は。
② 消費増税によって市の政策に変化はあるか。

市長 ① 現時点で推計できる範囲では一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計及び下水道事業特別会計を合わせた総額で3億9百万円の歳入の増を見込んでいる。
② 国が新たな経済対策を行う予定とされており、具体的な影響は不透明な状況である。現時点では市民生活への影響に対する国や都の動向を注視していく。

60+αの公約を市の政策として いかに実現していくかを問う

坂井やすのり議員(みな) ① 緊急地震速報を学校の避難訓練に活用することは検討したのか。
② 自転車事故激減に向けた啓発活動についての考えは。

教育長 ① 平成24年11月に緊急地震速報の訓練用音源を録音したCDを全ての小・中学校に配付し、避難訓練に活用している。
② 小学校1年生等への自転車ルールブックの配布を行っているほか、市民向けの交通安全講習会などを行っている。また市報に自転車の交通安全に関するコラムの掲載を始めた。

自治と多様性の視点からの 職員研修について

日向美砂子議員(生ネ) ① 市民協働や市民参加についての研修は恒常的に実施するべきでは。
② 男女共同参画など新しいテーマでの研修の導入の検討は。

市長 ① 自治基本条例や協働への理解を深め、推進を図るための研修を定期的に実施している。今後も職員が参加と協働の理念を仕事に生かせるよう取り組みを。② 1月に男女共同参画がテーマの研修を予定している。他市等の情報を参考としながら、人材育成基本方針を踏まえ新しい研修の導入を検討している。

情報公開の礎である 市の文書管理について

日向美砂子議員(生ネ) ① 市民がアクセスしやすい文書管理のあり方は。
② 文書管理規程の条例化は。

市長 ① 市民が求める情報を容易に検索できる仕組みを構築することは、市政を説明する責任を全うするために必要と考える。具体的には、小平市情報公開条例第32条の規定に基づき、現在、庁舎1階の市政資料コーナーに公文書の目録を備えつけている。
② 文書管理は市の内部事務のため現段階では条例化の考えはないが、公文書等の管理に関する法律の内容を踏まえ、文書管理規程の見直し等を検討する。

小川駅周辺地域の まちづくりについて

佐野都夫議員(政和) ① 小川駅西口再開発事業の進捗状況は。
② 小川駅前周辺地区まちづくりビジョンの目的は。

市長 ① 再開発準備組合では、平成26年度の都市計画決定に向けて公共施設等の基本計画など事業計画案の作成を進めている。
② 駅前広場の未整備や生活道路の交通環境問題等の課題について、上位計画では描き切れていないまちづくりの方針を具現化するために策定するものである。本年度は、まちづくりビジョンの案を作成し、現在パブリックコメントを実施している。

津本裕子議員(公明) ① 大規模開発の際に交通安全対策について事前に協議されるのか。 ② 大規模開発に至らない規模の開発に関する市のかかわりは。

市長 ① 事業区域とその周辺に

都市整備

小平都市計画道路3・8号府中沢線の情報収集は急務である
細谷 正議員(共産) ① 計画交通量を把握しているか。
② 道路公害に係る環境アセスメントは十分と認識しているか。

市長 ① 都から将来交通需要推計として、五日市街道から青梅街道までの約1.4キロメートル区間の計画交通量は、供用開始年度の平成31年度で1日に3万3千台から3万4千2百台と予測されると聞いている。
② 環境影響評価は事業主体である都が法令に基づき実施し、都環境影響評価審議会の審査を経て適正に調査、予測、評価が行われていると認識している。

市民総合体育館を 市民のスポーツの拠点に

木村まゆみ議員(共産) ① スポーツに対する行政としての役割をどう考えているか。
② 体育施設の利便性が後退してはならないと考えるがどうか。

教育長 ① 新たなスポーツ振興の仕組みづくりを目指すこと、体育施設の環境整備を行うこと、多くの市民が参加しやすい事業を展開していくこと等と考える。
② 現在の利用者だけではなく、これから利用する人も含めて、利用者全体の利便性が図られるよう管理運営に努めなければならないと考える。

公共施設

市民要望の多い公共施設の音響設備や排水設備の今後について
虹川 浩議員(公明) ① 福祉会館、地域センター、ルネこだいらへのプロジェクトの設置状況と今後は。
② 仲町第2公園、大沼かすみ公園の排水設備の今後は。

市長 ① 福祉会館に有料の貸出備品として1台、小川町二丁目地域センターに1台あり、ルネこだいらには設置していない。今後は、貸し出し状況や財政状況等を踏まえ必要な対応を図る。
② 仲町第2公園は近年中に雨水処理能力を高める措置を講じ、大沼かすみ公園は緊急性等を考慮しながら、適宜対応していく。



市役所1階の市政資料コーナー